

## 日常生活等状況調査票

記入者氏名 \_\_\_\_\_

本人氏名 \_\_\_\_\_

療育手帳の判定の際に参考にしますので、次の事項について、該当する番号を○（丸印）で囲んでください。

1 これまでに、次の機関で心理検査を受けたことがありますか。

(1) 秋田県立医療療育センター（旧秋田県小児療育センター）

1 はい 2 いいえ

「1 はい」の場合 時期： 年 月

(2) 秋田県発達障害者支援センター（ふきのとう秋田）

1 はい 2 いいえ

「1 はい」の場合 時期： 年 月

2 学校に通学又は就労していますか。

1 はい 2 いいえ

「1 はい」の場合 学校（勤務先）の名称： ( 年 )

3 施設等に入所又は通所していますか。

1 はい 2 いいえ

「1 はい」の場合 施設等の名称：

入所した時期： 年 月

4 病院に入院又は通院していますか。

1 はい 2 いいえ

「1 はい」の場合 病院の名称：

入院した時期： 年 月

病名：

5 身体障害者手帳を所持していますか。

1 はい 2 いいえ

「1 はい」の場合 手帳番号： 第 号

種別等級： 種 級

障害名：

再認定の時期： 年 月

6 精神障害者保健福祉手帳を所持していますか。

1 はい 2 いいえ

「1 はい」の場合 手帳番号： 第 号

障害等級： 級

初回交付日： 年 月 日

7 特別児童扶養手当又は障害基礎年金を受給していますか。

1 はい 2 いいえ

「1 はい」 の場合 等級：\_\_\_\_\_級

8 日常生活の状況について

|           |   |                             |   |  |   |   |   |                                    |
|-----------|---|-----------------------------|---|--|---|---|---|------------------------------------|
| 食事        | 1 | 全面的に介助が必要である。               | 2 | スプーンを使うことができる。コップを持って飲むことができる。               | 3 | はしを使って大体こぼさずに食べることができる。                   | 4 | 自分で食事ができ、配膳や片付けをすることができる。          |
| 排泄        | 1 | 事前に伝えることができない。全面的に介助が必要である。 | 2 | 事前に伝えることができるが、一人でトイレに行くことができない。              | 3 | 一人でトイレに行くことができるが、処理に介助が必要である。             | 4 | ほぼ自分でできる。                          |
| 着脱衣       | 1 | 全面的に介助が必要である。               | 2 | ボタンがないなど、着脱衣が簡単な服は自分でできる。                    | 3 | 前後、面裏を間違えることなく着ることができますが、確認を要する。          | 4 | ほぼ自分でできる。                          |
| 入浴        | 1 | 全面的に介助が必要である。               | 2 | 体を洗うための指示と介助が必要である。                          | 3 | 体の手の届くところは洗うことができるが、一部介助が必要である。           | 4 | 一人で背中を洗ったり、シャンプーしたりできる。            |
| 公共交通機関の利用 | 1 | 付き添いがあつても利用は難しい。            | 2 | 付き添いがあれば利用できる。                               | 3 | 練習すれば、乗り換えがない区間を一人で利用できる。                 | 4 | ある程度一人で利用できる。                      |
| 言葉の理解     | 1 | 言葉が理解できない。                  | 2 | 「だめ」「やめなさい」の指示や身近な言葉は、大体わかる。                 | 3 | 日常生活に関する話は大体理解できる。                        | 4 | 新聞や本などを読んで、ある程度内容を理解できる。           |
| 意思表示      | 1 | 自分から伝えることができない。             | 2 | 身振りや手振り、単語で要求や意思を伝えることができる。                  | 3 | 言葉で意思を伝えることができる。                          | 4 | 文字を使って意思を伝えることができる。                |
| 社会性       | 1 | 周囲の人への関心が薄い。                | 2 | グループにいることはできるが、介助する人との関わりが主である。              | 3 | 見守りがあるグループで、仲間と一緒に行動できる。                  | 4 | 見守りのあるグループの中で、ある程度役割を持つことができる。     |
| 作業        | 1 | できない。                       | 2 | 指示があれば、ごく簡単な用事などはできる。                        | 3 | 指示や見守りがあれば、簡単な作業はできる。                     | 4 | 理解ある職場で働くことができる。                   |
| 読み書き・計算   | 1 | できない。                       | 2 | 自分の名前を読むことができるが、書くことはできない。10以下の数字を数えることができる。 | 3 | 間違いはあっても、言葉や短い文章の読み書きはできる。簡単な足し算、引き算はできる。 | 4 | 自分で考えて短い文章を書くことができる。簡単なお釣りの計算ができる。 |

9 行動の状況について

- 1 異食がある。  
2 目的なく歩き回る。  
3 じっとしていられない。  
4 自分の体を傷つける。  
5 着ている服を破る。  
6 その他（ ）

10 特記事項

※本人の状況で気になることや、大きな変化があれば記入してください。

|  |
|--|
|  |
|--|